

2017年3月27日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第21号

イパネマ地区飲食店で傷害致死事件が発生

27日付当地紙オ・グローボ電子版 G1 によれば、3月26日（日）未明、リオ市イパネマ地区の飲食店において傷害致死事件が発生しました。

【報道概要】

- (1) 3月26日（日）午前4時30分頃、リオ市イパネマ地区ヴィニシウス・デ・モライス (Vinisius de Moraes) 通り75番地に所在の飲食店「Barzin Rio Live」において、アルゼンチン人観光客（3人）とブラジル人（5人）との間で口論となった。
- (2) その後、上記店舗前の歩道上で殴り合いの喧嘩に発展し、ブラジル人男性1名が所持していた杖でアルゼンチン人男性（28歳）殴打した。アルゼンチン人男性は倒れる際、歩道の側溝に強く頭を打った。
- (3) アルゼンチン人男性はその場で意識を失い、病院に運ばれたが、その後死亡が確認された。
- (4) 文民警察殺人課では、傷害致死及び殺人の疑いで捜査を進めている。

【当館から】

- 当地では、比較的治安の良いと言われるイパネマ地区、レブロン地区においても、深夜時間帯において、殺人事件や強盗事件の報告が散見されます。
- 深夜時間帯はできるだけ外出を控えるとともに、近距離でもタクシーを利用するように努めて下さい。